



Twitter 開設中！

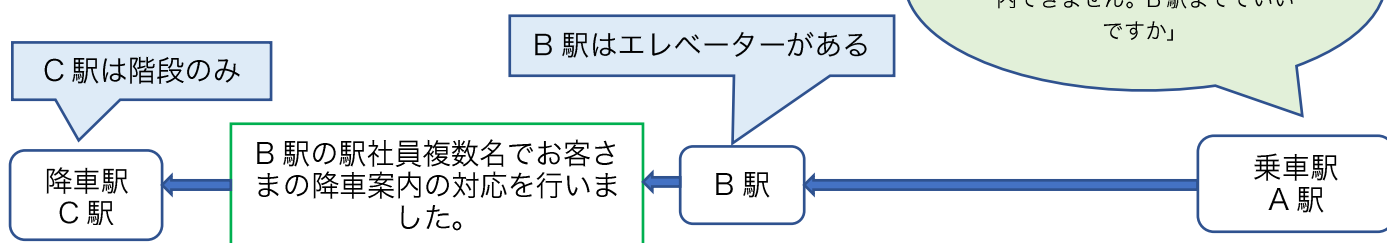
@jtsue\_yamanashi

2021.4.15 No.43

# 車いすご利用のお客さまに関する 記事がありました。

先日、電動車いすをご利用のお客さまが当社をご利用した際に降車したい駅（C 駅）が無人駅かつ階段のみの駅であり、乗車駅（A 駅）で「C 駅は階段しかないのでご案内ができません。隣の駅（B 駅）（B 駅は C 駅の管理駅）まででいいですか」と言われた内容の記事がありました。（最終的には B 駅から駅社員複数名で C 駅の降車案内の対応をしました）

（2021年4月10日 朝日新聞より）



無人駅は年々増えており、2019年度では**4,564**駅（2001年度：**4,120**駅）

（+**444**駅）にのぼっています。（国土交通省の資料より）

特に無人駅の多くはホームから出口まで階段を使用しなければ出られない構造になっており、車いすご利用のお客さまは駅社員の介助がなければその駅での乗り降りができないことになります。

今回の記事で考えていかなければならないことは、

- ・ 無人駅は管理駅が対応するだけで良いという問題ではない
- ・ 無人駅が増えるということは、こうしたお客さまがいらっしゃった際に会社全体として、どの駅でも共通の対応ができる体制づくり

ではないでしょうか？



全てのお客さまが利用しやすい駅を

つくっていきましょう！

